

第3回 横浜港・川崎港カーボンニュートラルポータル検討会 議事概要

会議概要

日時：令和3年3月18日(木) 14:00~15:30
会場：横浜市役所市庁舎 18階会議室(Web会議併用)

議事内容

○事務局から説明

- ・横浜港・川崎港 CNP 形成に向けた課題の整理
- ・横浜港・川崎港 CNP 形成の論点
- ・横浜港・川崎港 CNP 形成に向けた方向性

○脱炭素化に向けた各企業の取組みの紹介

- ・(株)三井E&Sマシナリー
- ・横浜川崎国際港湾(株)

○主なご意見

- ・水素等の社会実装に向けては、行政によるオーガナイズ、支援や協力が不可欠。官民で連携して取り組む必要がある。
- ・水素等のサプライチェーン構築に必要なインフラ投資をミニマムにするには、既存インフラの有効活用が重要。また、サプライチェーン全体でボトルネックが生じないように足並みを揃えて進められると良い。
- ・他港における CNP 検討結果についても関心があるため、今後共有してほしい。
- ・今後の実証事業段階においては、安全性確保を前提の上で、バース利用や燃料供給に関する支援や柔軟な対応をお願いしたい。
- ・新しいエネルギー導入の議論を進めるに当たっては、リスクマネジメントの観点も重要。新技術の導入にあたってはリスクマネジメントを適切に行う必要がある。
- ・今後については、本検討会で得られた知見等を活かしながら、CNPの実現に向けて取組を進めていきたい。

以上